

# 健康と光線

## サナモアは我が家の太陽

サナモア光線療法は、高品質のサナモアカーボンをアークさせて得られる太陽光線に極めて近似したフルスペクトル光線を体表に照射する治療法です。スペクトルとは、ニュートンが太陽光線の白色光、すなわち目に見える光線をプリズムを通して、赤、橙、黄、緑、青、藍、紫の色の系列に分け、再びプリズムで一つに合わせると白色光になることを発見した際に色模様につけた呼称ですが、その後太陽光線には目に見えない光線も含まれていることが明らかになり、今は太陽光線の全波長を含む光線をフルスペクトル光線と呼びます。このフルスペクトル光線を再現するサナモアは、いわば我が家の太陽なのです。

## フルスペクトル光線は 万能光線

光生物反応を生じるのは吸収

されたスペクトルのみである、

この概念は十九世紀の初頭に立証され、「光の第一法則」と呼ばれています。平たく言えば、分子には多種多様な構造形態があり、それぞれ独特なやり方で特定のスペクトルを吸収して特有な光生物反応を生じますが、反射したり透過して吸収されないスペクトルは光生物反応を生じないということです。すなわちフルスペクトル光線ならば、あらゆる分子は特定のスペクトルを吸収できるので、光生物反応は確実に生じるということです。さて分子が吸収する光エネルギーは光線の強度と照射時間の積、すなわち照射量で決まりますが、分子は照射量が多いほど高い励起状態になり、そのエネルギーで光産物を生成する光化学反応や熱作用や発光(蛍光)がなされるのです。したがって最大の光生物反応を生じるには、照射時間を延ばすことが役立ちます。

発行所  
〒153-0063  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行  
会費年500円  
電話 東京(03)  
3793-5281  
3712-5322

## 光合成の作用スペクトル

光合成を行う植物の葉は、例外を除いて緑です。葉の色が緑ということは、葉緑素が緑のスペクトルを吸収せずに反射することを示しています。すなわち葉緑素の色素分子は赤や青のスペクトルを吸収して光合成を行い、緑のスペクトルは余り利用しないことが分かれます。また葉緑素は紫外線を吸収して光合成の効率を高めたり、栄養価を高めたり、感染症に対する抵抗力を増す光産物(ファイトアレキシン)を合成しますが、熱作

## サナモア光線療法の理念

—自然と共生して生きる その11—

サナモア光線協会 サナモア中央診療所  
医学博士 宇都宮 光明

## 新生児重症黄疸の作用スペクトル

近年になって解明された新生児重症黄疸に対する光線療法のきっかけになったのは、窓越しでも太陽光線を浴びた新生児の黄疸が軽いことに気付いた看護婦の観察と云われています。その後の研究で有効な作用スペクトルは青色光線であることが明らかになりましたが、フルスペクトル光線なら効果は全く同じです。要するにフルスペクトル光線には全ての波長が含まれて

用の強い赤外線は葉が焼けただれては困るので吸収しません。同じ植物でも海中植物の葉の色は深度が増すと緑から茶褐色黒と変わるの、深度により光線の質、量とも異なるためと考えられています。無論、光線の届かない深海に深海魚はいます、深海植物はありません。

## 自然との共生を助ける サナモア光線療法

サナモアの特徴は、太陽光線に似たフルスペクトル光線を放射することですから、太陽光線の代わりに自在に何時でも何処でも使えることです。ところで光線療法という言葉は、紫外線療法、青色光線療法、赤色光線療法、赤外線療法、遠赤外線療法のようにさまざまなものに用いられていますが、サナモアはこれらの適応症が限定される光線療法とは異なり、目指すのはあくまでも自然との共生を助けるフルスペクトル光線療法なのです。

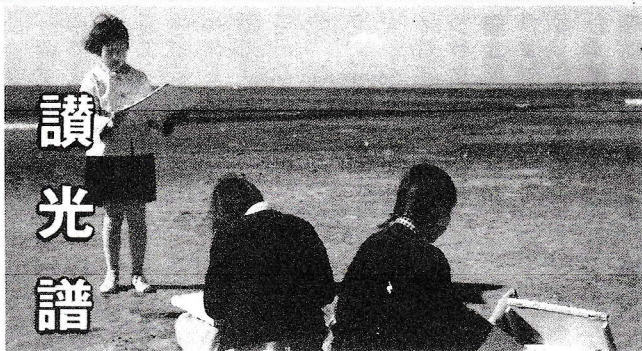
東京光線療法研究所を創設し、自社製品をサナモアと命名した宇都宮義真は、サナモアの理念はあくまでもフルスペクトル光線を放射する総合光線療法であることを強調し、他の光線療法を細切れ光線療法と切って捨てましたが、真に自然との共生を助け、健康を維持し、自然治癒力を増強する光線療法はサナモアであるとの信念で普及に努めたのです。





海辺のスケッチ

宇都宮義真撮影



## 一、皮膚に対して、

皮膚は体表を覆い、外界との境をなす。サナモアは皮膚を通して作用するが、皮膚の種々の機能を増すため、皮膚病の治療に用いられる。また皮膚を鍛え、と全身の抵抗力が強まるので最高の健康法になる。

皮膚は腎臓その他の内臓の代償器官として生命保持に重要な働きをしている。そのため健康な人でも全身の三分の一以上のヤケドをするとい命を失うおそれがあるが、サナモアはヤケドにも卓越した効果がある。

## 二、深部に対して、

サナモアの熱作用は赤色光線から赤外線線の輻射熱であり、透過性があるため皮膚ではさほど熱く感じなくても、体内深部に達して熱を発生し温度を上昇させる。深部が熱せられることは、自力で病気を治すために自然に発熱するように万病に有効であり、後述する消炎、鎮痛作用とも深く関わっている。

なおサナモアが身体を通して深部に達することは、光線に手をかざすと赤く見えるので分かる。一方、湯タンポ、カイロ、

ストーブ等の伝導熱や対流熱は、皮膚に熱くても深部に達する作用はない。

## 三、ビタミンDに 対して、

サナモアは皮下脂肪中の7-デヒドロコレステロールをビタミンDに変化させる。ビタミンDは皮下毛細血管網より吸収されて全身に運搬され、カルシウム代謝をはじめさまざまな生理機能を円滑に営む上で必須の作用をなす。例えば副甲状腺に作用して副甲状腺ホルモン(PTH)の分泌を抑え、カルシウムの体内保有量を高め、丈夫な骨を再生する。このカルシウムは食品では乳製品に多量に含まれているが、牛乳を飲んでもビタミンDがないとカルシウムは吸収されずに体外に排出されてしまう。

## 四、血液に対して、

顔色は血液の色素(ヘモグロビン)が増加すると良くなる。サナモアを掛けていて顔色が良くなったと言われるのは、サナモアにヘモグロビンを増やす効果があるためである。反面、いつも日の当たらない所で暮らしている人は顔色が悪くなる。このヘモグロビンと植物の葉緑素(クロロフィル)とは化学構造式が非常によく似ているが、光に当たると増加して色が良くなることもよく似ている。

## 五、感染症に対して、

サナモアは感染症に対する抵抗

## サナモアの独特な 作用の一例

宇都宮 義真

抵抗力を高める。昔から日光消毒は光線の殺菌作用を応用したものであるが、細菌は光線に当たると光化学作用で速やかに死滅する。一般に強力な殺菌剤は毒性が強く細胞を損傷するため薬として使えないが、光線は殺菌しても細胞を破壊することなく、ますます抵抗力が強くなる。ちなみに光線は白血球の喰菌作用

を高めるのでカゼをひかなくなる。

## 六、消炎、疼痛に 対して、

サナモアを患部に照射すると、

炎症を速やかに吸収し、どんな痛みでも直ちに和らげるが、鎮痛剤や麻薬のような対症療法とは異なり、深部体温を上昇させ、以て血液循環障害を改善して治療機転を促進し、自己治癒力を高めて病変部を修復するのである。なお照射中に一過性に痛みが増す陽性反応(好転反応)を起すことがあるが、やや温かく感じる距離まで遠ざけてそのまま続けて良い。無論、治るに伴って陽性反応は消失する。

サナモアは温かく感じるが、決して冷やすの反対ではなく、むしろ冷やすの数倍の効果があ。殊に高齢者の慢性の痛みが、副作用のある鎮痛剤や麻薬を用いず、サナモアのような健康法を兼ねた方法で治ることは大なる福音と言わなければならない。

「健康と光線」

昭和43年9月5日発行

—サナモアの独特な作用の一例—  
を引用した。



# 現代がん研究考

サナモア光線協会

医学博士

宇都宮 正範

本邦初のがん遺伝子治療が、東大医科学研究所附属病院において行われましたが、日本におけるがん治療も一歩前進したと思われまふ。ただ、治療法として確立された諸手をあげて喜ぶには時期尚早と言わざるをえませんが、二十一世紀へ向け、がんを闘うための手段が増える可能性はあります。このように、

話題となった著書「患者よ、がんを闘うな」(近藤誠著)の中で、著者は、がん検診の有効性を否定し、実際に行われているがん治療の問題点を指摘しています。この書の出版を機に、がん専門医の間で、がん検診の有効性について、物議がかもしだされましたが、どうやら既定の方針どおりで何も変わらない

ようです。興味津々で決着の行方を見守っていた方は、少し残念に思ったのではないでしょう。しかし、それだけ、がんに対する考え方は様々で、難しい問題なのです。そこで、現代がん研究者と題し、私見を交えてがんを眺めてみることにします。

がんは最も人が恐れる病気ではないでしょうか。がんという言葉の淵に迫り込むのに十分な力があります。特に、メディアが発達した現代社会では、連日のように、どこかの有名人が、がんで亡くなったと報道されるため、がんは生命を奪う恐ろしい病気であると認識させられるわけですから、実際にはがんによって、どのくらいの生命が奪われているのでしょうか。がんは最近の生活習慣や環境の変化にともない増加傾向にあり、現在では四人に一人が、二十一世紀になると、おそらく三人に一人が、がんで死亡するのではないかと予測されています。

の領域へと突き進んでおります。つまり、がんの原因が、遺伝子の突然変異にあるとすれば、究極的な治療法は、間違った命令を下すようになった遺伝子を修復し、がん細胞の無秩序で無制限な増殖を抑えることに他ならないのです。冒頭で紹介した、まだまだ始まったばかりの遺伝子治療が、がん治療の主流になる日もさほど遠くないかもしれません。

また、がんといっても、できる場所(臓器)も様々で、場所が同じであっても、分化の程度により、長期間粘膜内に留まり進行が遅いものから、早期に転移をおこしやすく予後が不良なものまで様々です。平たく言えば、がん細胞にも人間と同じように個性があり、おとなしく出歩くのがきらいな奴もいれば、せっかちであちこち飛んでいきたがる奴もいるというわけです。「一〇〇個のがんがあれば、一〇〇種類のがんがある」と言われる所以ですが、このために、がん治療は難しく、がんを専門とする医師の間でもしばしば意見の対立をみまふ。医師によっては、がん患者さんの予後が、がん細胞の性格によって決まるのなら、早期に発見し治療しようが、自覚症状がでてから治療を開始しようが同じであると考え、苦痛を伴うがん検診に否定的な立場をとるでしょう。私個人は、病気ががんだけではない

ですし、自分の健康に対する意識を高めるためにも、血液検査、尿検査、検便などの身体に侵襲の少ない検査を行った方が良いと考えています。

次に、医療の現場で行われているがんの治療について簡単に触れます。主に、外科療法、放射線療法、化学療法が、がんの種類や進行度に応じて、単独あるいは組み合わせて行われています。注目されている治療法に免疫療法がありますが、これは長い歴史があり期待度は高いのですが、現段階で効果は十分ではありません。しかし、発想からすれば、がん細胞に対する免疫力を高め、人体にとっては異物であるがん細胞を除去するわけで、副作用も少なく、成功すればかなりの効果が期待できます。陽気に笑うことが、免疫力を活性化すると報告もあり、もっとも私たちに身近な治療法なのかもしれません。

非常に悪く、早期に転移病巣を作るのです。現状において、がん治療全体を見渡した時、治療成績が著明に改善したというよりも、治るがんが、より明確になったという色分けが、より明確になってきたと考えた方が良いでしょう。

さらに、忘れてはならないことに、がんの予防があります。喫煙と肺がんの関係でも分かるように、がんはひとつの生活習慣病という概念が強いと思います。最近、日本のがん疫学研究会が、がんの予防策についてまとめています。(1)喫煙をしない。(2)酒類を飲み過ぎない。(3)食事は腹八分目で、肉類、油類、塩辛い物を食べ過ぎない。(4)野菜を毎食、果物は毎日食べる。(5)散歩や運動をよくする。以上の五項目ですが、私は六番目として、適度な日光浴を付け加えたいと思います。あまり知られていませんが、米国の疫学的研究で、大腸がんによる死亡率が、米国の北部から南部にいくに従って減少傾向にあることが明らかにされて、太陽光線もがん予防に不可欠であることが認識させられました。光線療法の面目躍如といったところです。将来、気軽にがんが治る時代が訪れるかもしれませんが、それまでは、一人一人が節制し、がんの予防を心がけることが、一番大切なかもしれないと感じます。

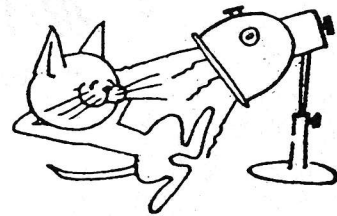


## ☆全身打撲

症例 92歳 女性

症状 昨年12月7日、屋上に出ようとして敷居の段差につまづき、身体が宙に浮き、気付いた時は四つん這いで両膝に火がついたような激痛を感じたが、教師を定年退職した娘さんに支えられてタクシーで医院に駆けつけた。診察の結果、右手の肘にひびが入り、左膝は内出血していると診断され、かなりの量の血を抜いたあと左足全体にギプス固定を行ってから帰宅し、二日間は医師の指示通りじっと安静にしていた。

本例は七十七歳の時にサナモアと出会い、それから十五年間愛用してきたが、このままでは



## — 治 験 例 報 告 —

十分に光線照射が出来ないため、三日後に医院でなかなか承知しない医師を説得して、ギプスを外してもらい帰宅した。

療法経過 これまでの経験で、帰宅直後から両膝と右肘の打撲したところをBCカーボンで各20分、両膝の内側と外側からABカーボンで各10分、足裏に10分照射した。

数日して電話で相談があった。ひどい痛みは目に見えて良くなってきたが、最も強く打撲した左膝の関節に水が溜まった感じでブヨブヨしているというので、ABカーボンとBDカーボンを交互に使用し、膝の正面から10分、外側と内側から各20分

づつと、ABカーボンで足の裏に10分、肘に20分照射するように指示した。

それから一週間程で、膝の水は引きすっかりしてきた。12月24日に診察を受けた際、「随分早く良くなったなあ」「無理をしなれば普通の生活で良い。包帯も湿布も要らない」と驚いたように言われたと娘さんからはずんだ声で電話があった。

2月に娘さんが来所し、正月は気持ちよく迎え、1月5日に診察を受けたが、X線診断で「すっかり良くなっている」、と言われ、今更のようにサナモアの効果を思い知らされ心底から喜びを感じたと感謝の気持ちを話し

## ☆無菌性髄膜炎後遺症

症例 18歳 男性

症状 母親と来所した。患者は十五年前に無菌性髄膜炎に罹患したが、その後遺症で右半身に軽度の麻痺症状があり、右の肩肘、手首、足首の関節が硬直し

て変形し、軽い言語障害があり、日々の生活に支障がある。病院でリハビリを受けたが、効果は期待できないと言われ、光線療法に望みを託したいと言う。少なくとも半年から一年は治療を

続ける必要があると話したが、それでも治療を希望された。

療法経過 ABカーボンで、左を下に側臥位で、顔、腰、肛門、膝に各10分、腹、後頭部、足裏、足首に各10分、仰臥位で左側頭部、右頸部、左側腹部、右膝の右側に各10分、右側頭部、左頸部、右側腹部、左膝の左側に各10分、左右の膝に横から10分照射した。本例では予測を越えた即効性の効果を認めた。即ち五日目位から、硬直していた右半身の肩や肘や手首の関節に柔軟性が出

てくれた。今は照射の重点を良くなった足と肘から全身照射にしたと言うので、是非、継続するように勧めたが、食事の注意とサナモアがあつて、快食、快便、快眠の健康な生活を支えていると口癖のように言っていると言う。

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL0七八三三二一三三八

## ☆風邪症候群

症例 53歳 男性

症状 症例は主人である。正月三日頃から、のどの痛みと軽い咳が始まり、身体が熱いと言うので検温したら38・2度あり、

始め、感覚も戻ってきた。患者は明るくなり、希望を持って治療を続けたいと、当院の治療に加えて治療器を購入して自宅でも治療したが、三ヶ月後には母親も驚くほど症状は改善し、諦めないで本当に良かったと大変喜ばれた。なお一層の改善を期待して自宅治療を続けることに

して、当院での治療は打ち切っている。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL0四四一七二二一五〇六七

風邪だろうと思い光線療法を始めた。

療法経過 BCカーボンで、足裏、足甲、背、のど、胸(左右の肺、気管支)にそれぞれ30分位ずつ照射し、数日続けた。熱は最高で38・6度まで上がったが、二、三日で37・6度まで下がった。しかし却って咳がひどくなり、痰が頻繁に出た。胸はもやもやし、時々痰に血が混ざると言うので、肺炎になりかけているのではないかと心配して、胸部に照射する時間を長くし、右肺、左肺、気管支の三ヶ所は楽になるまで約一時間づつ、更に背に30分、40分、足裏、足甲も30分位照射した。この間、相当に発汗するので、治療中、治療後に必ず水分を摂るようにして、脱水には特に注意した。

風邪は光線療法だけでなく、休養、水分補給、バランスの良い食事に気配りして、治療に専念すれば必ず早く治るが、主人は寝込んだのは一、二日間だけで、無理に仕事をしたため、完治まで三週間位かかった。自戒の念を込めて反省すべき点である。

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

TEL0九二八五八二二〇三九五七二一五七三



## 母の感謝の

## 気持ち伝えま

神戸市 米光 澄子様

母は若い頃より病弱でした。しかし二十数年前にサナモアと出会い、現在72歳になりましたが、大変元気に一人暮らしをしています。

母は極端な冷え性で、暑くても汗をかかないし、夏でもウールの靴下やセーターが必要なほどでした。その

## 愛用者だより

## サナモア

上、慢性の膀胱炎をわずらっていましたが、サナモアを毎日、朝夕、一時間かけることで健康を取り戻し、性格も明るくなりました。母はいつもサナモアに感謝し、手を合

わけて、「ありがたい、ありがたい」と言っています。母は病院や医者には年に一度、検診に行く位ですが、神戸の元町のウエノ光線の上野先生には、電話でいつも相談にのって貰っています。代筆ですが、上野先生へのお礼に合せて、母の気持ちを伝

えたく筆を執りました。本当にありがとうございます。

ところで先日サナモアの修理、ありがとうございます。すっかり新品のようになって、また長い間、愛用できます。私の娘二人が、一人は潰瘍性大腸炎で、もう一人は無月経になって一年余り、サナモアと漢方薬で治療しております。どちらもストレスが原因のようですが、祈る気持ちで愛用しています。

## サナモアで救われた

横浜市 鈴木 麻子様

昨年の十二月九日の夜半、肩や背中あたりから腰にかけて、寝返りも打てないほどのすごい痛みが襲われ、息も吸い込めません。気持ちが悪くなり、激しく嘔吐し、一晩中苦しみました。

翌朝、病院に行きました。胸のレントゲン検査、点滴、腰と背中と胸の痛みには痛み止めの注射や座薬、動脈への注射、そして挙げ句の果てに入院となりました。しかし相変わらず痛みは治まりませんし、さすつてくれる人も居ないので無理やり退院しました。その折、血圧が二〇〇／一一〇あり、血圧を下げる薬だけ頂いて帰りました。

帰ってから二、三日はそのままでしたが、サナモアの治療器があることを思い出してかけて

みましたら、息を吸うのがぐ楽になり、腰の痛みも違います。

「光線療法」を読みながら夢中でかけました。サナモアをかけて一日たった頃から、食事が食べられるようになり、嘘のように痛みがとれました。本当に救われました。

翌日、病院でドクターに薬ではなくサナモア光線で良くなったと言いました。ドクターはそのことをカルテに書き込んでいました。

## なくてはならない

## 家庭の医療器

練馬区 井上 文子様

厳しい寒さが続いています。私、七十八歳の女性、練馬区に住んでいます。今年の一月末からインフルエンザで十五日間、寝たり起きたりの毎日でしたが、ふと気が付いて喉と腹と足裏に光線をかけましたら、足腰が

すっかりして、疲れも少なく、家の中の仕事が可能になりました。今日で起き出して三日目ですが、食欲も戻り、物事に意欲的になってきました。もっと早く気が付けば良かったのと思ってみましたが、後の祭りです。

私は四人姉妹の長女で三人の妹がいますが、四人とも何かにつけて光線を愛用しています。結婚して近くに住む姪も最近治

療器を購入して、生家へ借りに來くなりました。私達姉妹には、なくてはならない家庭の医療器具になっています。宇都宮義真先生が著した赤表紙の「光線療法」を改めて見直して、心から感謝申し上げます。

## 顔のやけどの治療

千葉県八千代市 永野 弓子様

はじめてお便り致します。

実家でさざえの煮汁が飛び、左のほほとまぶたにやけどをしてしまいました。その場合は、すぐに水で洗い、氷で冷し、ぬり薬をぬって、我が家には二日後に帰りました。

帰ってから光線を照射しました。腹に15×20分、ほほに5×10分、朝夕二回、光線を続けましたが、十日目位で大体よくなり、やけどのあともなくほつとしました。顔だけに心配していましたが、光線のお蔭で、これ以上、ブスにならずにすみそうです。ありがとうございます。

## ぎっくり腰が

## 三日で治った

広島県比婆郡 釜野 元春様

昨年の正月二日のことです。

床から起き上がろうとしたら、急に腰が痛くなって、まともに背を伸ばせなくなりました。正

月早々のことでもあり、サナモアをかけて様子をみようと思いき、一日に三回、それぞれ15分位かけましたが、次第に痛みがなくなり、三日かけたら普通のようにになりました。改めて光線治療の効果を実感しました。それから少しでも悪いと思う箇所にかけています。

## みんな

## 喜んで

宮城県栗原郡 高橋 恭子様

昭和63年頃、頸椎障害、頭痛、耳なり、不整脈と、身体全体が傷み出して、大変に苦しんだことがありました。その折に娘が千葉の本木先生を通して光線を知り、買い求めて今に至って居ります。お蔭様で私は徐々に元気に、今では主人も一緒に使っています。本木先生には色々御指導をお願いし、御返信を頂きましたが、御礼のお便りもろしくお伝え下さい。

現在は主人の病院のため、仙台に住んでいます。仙台にも友達が大勢いますので、病気で苦しんでいる人がありましたら紹介致します。私の周囲にはクチコミで買い求められた方が大分いらっしゃると思いますが、喜んで頂いていますので、私も喜

(六ページへつづく)



(五ページからつづく)  
 んでいます。今後ともよろしく  
 お願い致します。

## 効く薬はないと

### 言われた神経痛

静岡県賀茂郡 渡部 実様(80歳)  
 私がサナモアを愛用し始めたのは二十年ほど前で、当時、ひどい神経痛に悩まされており、薬は売薬に至るまで色々試してみましたが、医師にあなただの神経痛に効く薬は今はないと言われてしまいました。そんな折、サナモア治療器の存在を知り、サナモア光線で神経痛の苦しみから解放されたのです。

それ以来、健康維持、皮膚炎の治療、胃腸の具合をととのえる等々、生活になくてはならない必需品になりました。先日、ホルダーが壊れ、使用できず困っておりましたが、部品の有るのを知り、カーボンと一緒に送って頂き、早速修理して、健康維持のため使わせて頂いております。心から厚くお礼申し上げます。

## サナモアさん、

### 有難う

神戸市 戎 繁様

サナモアさん、有難う。

昭和63年7月にサナモアと仲良しになって十年、毎日かかさず利用していますが、風邪を引かず、足の痛みもよくなり、本

当に元気に過ごしています。家族も全員が何かあるとサナモアを利用して感謝しています。

私の孫の女の子が自転車乗りの練習中に大ケガをして、顔から血を流して泣いて来ました。鼻のあたまで額から血が吹き出ていました。私はA Bカーボンで十五分程手当てし、三日程つづけたら完全に良くなり、傷あとが残さずにきれいになりました。手の傷にはサナモアをあてなかったため、二年過ぎた今も傷あとが残っています。孫はおじいちゃんのお蔭だ、サナモアさんのお蔭だと、顔に傷あとが残らなかったことを喜んでいました。

## こんなに楽な

### 健康法はない

石川県羽咋郡 本西 かよ様  
 身体が弱かったのに、高齢化

社会の高齢者の仲間として長生きして居りますのも、皆、サナモアのお蔭と感謝致して居ります。

私は食事は粗末な菜食で生活していますが、はやり病にかかるともならず、骨粗鬆症にもならず済んでいます。頭から足までどこが悪くても、医者にはあまり行きません。風邪にサナモア、腰痛にサナモア、胃痛にサナモア、こんなに楽な健康法はありません。サナモアがなかったら、こんなに長生きは出来なかったかも知れません。

先日もう手をくじきましたが、もうすっかり治りました。癌にも肉食を止め、サナモアをかければ良く効くように思います。どうか皆様にお勧め下さい。今後とも宜しくお願い致します。

## サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

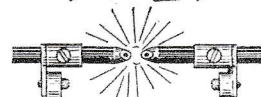
サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセッとしたり、サナモアA B C Dと効果と同じという根拠も無いうたい文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので、異々もご注意ください。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついています。)

東京光線療法研究所

サナモア



Sanamoa

サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くしてはならない紫外線や赤外線を目的にに応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙、普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03) 三七九三—五二八—  
 三七二—五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)